第15回　全日本少年春季軟式野球大会ＥＮＥＯＳトーナメント沖縄県予選
第9回　島田叡杯争奪沖縄県中学校軟式野球大会要項（案）

１．主　催　　一般社団法人沖縄県野球連盟

２．主　管　　一般社団法人沖縄県野球連盟

３．後　援　　読谷村教育委員会、南城市教育委員会、豊見城市教育委員会、新聞社

４．期　日　　令和５年１０月７日（土）８日（日）予備日９日（月）　開会式：無し

５．会場　　７日：１・２回戦9：00開始
　○オキハム読谷平和の森球場　　○南城市営新開球場
　○瀬長島野球場Ａ・Ｃ
８日：準決・決勝 9：00 開始
　○オキハム読谷平和の森球場　　○南城市営新開球場
９日：予備日
　○オキハム読谷平和の森球場　　○南城市営新開球場

６．参加資格　(1)沖縄県内の中学校に在籍する1･2年生の生徒で編成されているチームで各地区の代表となったチームとする。なお、1校1チームとする。
(2)一般社団法人沖縄県野球連盟に登録していること。（硬式ボールを使用している団体に登録又は大会に参加している者は、連盟に登録することはできない。）
(3)1チームは選手１０名以上２５名以内、監督１名、コーチ２名以内で編成、ただし、監督、コーチは２０歳以上とする。
(4)大会でベンチに入れる人員は、監督、コーチ、選手およびチーム代表者（引率責任者）、マネージャー、スコアラー、トレーナー（有資格者）の各１名とする。
(5)参加資格の特例を認める。
１）「開催基準8(6)複数合同チーム」
２）「地域スポーツ団体等」

※地域スポーツ団体等については、下記資格の保有を必須とする。
①　指導者資格（ア～ウのいずれかを保有していること）
ア、日本スポーツ協会公認コーチ１（軟式野球）
イ、日本スポーツ協会公認コーチ３（軟式野球）
ウ、BFJ公認野球指導者基礎Ⅰ（U-15）
②　審判員資格
ア、（一財）全日本野球協会アマチュア野球規則委員会公認3級審判員以上

(6)県・地区中体連の規定及び各学校の規則に沿った中学生らしい身なり・容姿で参加する。
(7) 九州･全国大会への代表権を獲得した場合は、県代表としての自覚と責任を持ち、九州大会･全国大会へ参加できるチームであること。

７．　出場チーム　　県内７地区代表１６チーム

地　区	国　頭	中　頭	那　覇	久米島	島　尻	宮　古	八重山	計
割当数	3	5	3	1	2	1	1	１６

８．競技規則　(1)2023年公認野球規則及び（公財）全日本軟式野球連盟競技者必携、本大会競技規則･特別規則に則って行う。
(2)競技方法はトーナメント方式とする。
(3)試合は7回戦とし、得点差によるコールドゲームは3回以降10点差、5回以降7点差とする。また、日没、降雨のコールドゲームについては全試合5回以降成立とする。日没・降雨などで試合が成立しない場合は、特別継続試合を適用する。試合時間の制限は行わない。
(4)背番号は1～25番を使用し、原則としてポジション順とする。
※天候の都合で日程変更がある場合は、本部で協議の上、特別ルールを設定する。

９．使　用　球　　（公財）全日本軟式野球連盟公認内外ボールＭ号球とする。

10．組み合わせ　　令和５年９月１４日（木）運営委員会において本部抽選により決定し、後日、沖縄県中学校野球専門部HP（https://okifffbb.web.fc2.com/）にて発表する。

11．表　　彰　　(1)優勝校には優勝旗、島田叡杯（持ち回り）、優勝盾、賞状を授与する。
(2)準優勝校には準優勝盾、賞状を授与する。
(3)3 位表彰も行う。

12．参加申し込み　(1)出場資格を得たチームは、沖縄県中学校野球専門部 HP（https://okifffbb.web.fc2.com/）より所定の大会申込用紙に必要事項を記入し捺印を受け、大会参加料１万円を添えて 9 月 13 日（水）までに羽地中学校へ直接持参するか、郵送で申し込む。なお、大会冊子用データを下記のアドレスに 9 月 13 日（水）までにメール送信すること。（**okifffbb2007@yahoo.co.jp**）
(2)選手変更届は、沖縄県中学校野球専門部 HP よりダウンロードし、校印を押印して、原本１部・コピー2 部を競技初日 10 月 7 日（土）各会場の球場長に提出する。
【申込先】　〒905－1144　沖縄県名護市字仲尾次 770 番地　名護市立羽地中学校
沖縄県中学校体育連盟野球専門部長　米田　善行　宛

13．旅費宿泊費　本大会における旅費・宿泊費はすべて参加チームの負担とする。

14．その他　　(1)チームの責任は、引率者において、一切負うものとする。
(2)大会出場中の選手の傷害は、大会本部において応急処置を行い、後は各学校で処理する。
(3)大会参加の際、健康保険証を持参すること。
(4) 優勝チームには文部科学大臣杯全日本少年春季軟式野球大会ＥＮＥＯＳトーナメント全国大会への出場資格を、準優勝チームには第５回九州少年軟式野球大会（鹿児島県）への出場資格を与える。

第 15 回　全日本少年春季軟式野球大会ＥＮＥＯＳトーナメント沖縄県予選
特別規則

１．試 合 時 間　　試合は１時間３０分と計算し、その６０分前までには集合する。

２．オーダー交換　　(1)オーダー用紙は大会本部の用紙を使用する。（５部提出）
(2)攻守決定は、前の試合の４イニング終了時（第１試合は試合開始４５分前）に監督立ち会いの上、主将が行う。但し、連続試合で先発投手が主将の場合は、登録メンバーから代理を認める。

３．ダッグアウト　　(1)ダッグアウト外からの選手への指示、アドバイスは禁止。
(2)ダッグアウト内でのメガホン使用は監督、コーチのみとする。(ベンチ内１個とする。)

４．シートノック　　(1)相手チームがシートノックを行っている時に、道具等の点検を行えるように準備すること。

５．応　　援　　(1)中学生にふさわしい応援をする。
(2)応援は攻撃側のチームが優先に行う。
~~(3)別に定める新型コロナウィルス感染拡大予防ガイドラインの徹底を図ること。~~

６．用　　具　　(1)マスコットバット、バットリング、鉄棒、公認球以外のボール等、試合で使用しないものは球場内への持ち込みを禁止する。
(2) 沖縄県中学校体育連盟軟式野球専門部「用具・装具規定及び運用規定」を適用する。

７．試合のスピード化
(1)ベースコーチ・打者・次打者の４名は攻撃前のミーティングには参加せず、所定の場所に移動すること。

８．そ　の　他　　(1)~~大会参加者及び関係者は、新型コロナウィルス感染症対策として別に定めるガイドラインを遵守し、必要書類を提出して大会に参加すること。~~
(2)投手が投球動作を開始したら、投手の動揺を誘うような声を発しない。
(3)記録員はユニフォームか制服とする。
(4) 選手交代は、監督が球審に告げること。
(5)各チームのゴミは必ず責任を持って持ち帰る。最終試合の両チームは、ダッグアウト、スタンドの清掃をすること。